



2021年1月21日

各位

会社名 アルー株式会社
代表者名 代表取締役社長 落合文四郎
(コード番号: 7043 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 執行役員 稲村大悟
コーポレート部長
(TEL. 03-6268-9791)

通期業績予想の上方修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の状況を踏まえ 2020年8月13日に公表した 2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,700	△315	△325	△270	△107.08
今回修正予想 (B)	1,819	△218	△217	△192	△76.15
増減額 (B - A)	119	97	108	78	
増減率 (%)	7.0	—	—	—	
(参考)前期連結実績 (2019年12月期)	2,509	165	160	115	45.68

注 営業利益及び経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益並びに1株当たり当期純利益につきましては損失であるため増減率を記載していません。

2. 修正の理由

当社は、2020年8月13日公表の2020年12月期通期連結業績予想につきまして、新型コロナウイルス感染症の影響により、顧客の大幅な研修実施の見送りや中止が継続的に発生することによる売上高の減少を見込んでおりましたが、教室型研修におきまして、オンラインでの研修実施やeラーニングの受注が予測を上回ったことに加え、テレワーク環境下においてLMS(ラーニングマネジメントシステム)への注目度が増し、etudesの販売が順調に成長したことで、売上高は前回発表の予想を119百万円(増減率7.0%)上回る見込みとなりました。

また、利益面においては研修のオンライン化が進んだことで売上原価がこれまでに比べ低減されたことに加え、オンラインでの研修実施による旅費交通費の削減や、新しい働き方環境下での当社従業員に

よるテレワークの推進により、従業員交通費や通勤費が削減されたことで、利益率が向上し、営業利益は前回発表の予想を 97 百万円上回る見込みとなりました。またそれを受け、経常利益は前回発表の予想を 108 百万円上回り、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表の予想を 78 百万円上回る見込みとなりました。

以上のことから、2020 年 12 月期の通期連結業績予想につきましては、連結売上高 1,819 百万円、営業損失 218 百万円、経常損失 217 百万円、親会社株主に帰属する当期純損失 192 百万円とさせていただきます。

なお、配当予想につきましては 2020 年 8 月 13 日公表の配当予想から変更はありません。

以 上